



ふれあいこども園だより 8月号

社会福祉法人はばたき ふれあいこども園

いつの間にかセミの声が聞こえ始め、季節は夏真っ盛り☀️子どもたちは暑さに負けることなく園庭を走り回ったり、プールあそびで大はしゃぎしたり、元気いっぱいに過ごしています。

夏の身体は、おとなも子どもも、かなりの体力を消耗します。いつも以上に「食事・睡眠・休養」が大切です。早寝、健康に留意して、楽しい夏を過ごしましょう。



8月の予定

2日(土)卒園児の集い

《対象:本園を卒園した1・3・5年生》

4日(月)身体測定《以上児》

5日(火)誕生会

6日(水)身体測定《未満児》

8日(金)プール納め

21日(木)避難訓練《不審者》

23日(土)夏まつり 17:00~

※雨天の場合は30日(土)に延期します※

※8月のお弁当は13日・14日・15日です※

9月の予定

2日(火)誕生会

18日(木)避難訓練《水害》

行事は天候や感染症の流行により、
変更になる場合があります。ご了承ください。

交通安全教室がありました

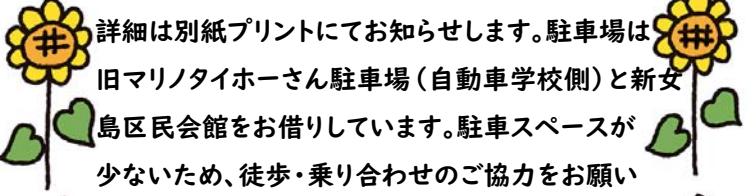


交通ルールについて警察の方から

教えていただきました



23日(土)の夏まつりは17:00より行います。



「よいこと」と「わるいこと」は子どもたちにどうやって教える?
赤ちゃんから幼児期になると、親もしつけについての意識が強くなり、子どもを叱ってしまう場面も増えてくるかもしれません。しかし「叱る」ことは本当に有効な方法でしょうか?

◆しつけとは?

そもそも「しつけ」と「叱ること」は違うものです。しつけとは「できないことを叱ることではなく、「生活動作や礼儀作法、規則、規範等を教えること」です。「〇〇したらダメ」ではなく、「〇〇しようね」と教えていくのがしつけです。また、その場だけ言い聞かせられればよいわけではなく、本来の目的は、子どもが社会で生きていくうえで、「自分自身で判断して行動する力」を身につけることです。きつくなって単に言うことを聞かせるだけでは、この力は育ちません。

◆理由を説明して具体的に教える

では、どのようにすればよいのでしょうか?それは具体的なアドバイスをしてあげることです。「叱る」のではなく「教える」ことで、子どもは自分の行動を改め、その場の経験から学ぶことができるようになります。

